

小糸製作所、車載向け短距離LiDARの受注を獲得

株式会社小糸製作所(本社：東京都品川区、社長：加藤 充明)は、車載向け短距離LiDARを開発、グローバルOEMメーカーより新規受注を獲得しましたので、お知らせいたします。

当社は、2022年に策定した「KOITO VISION～人と地球の未来を照らす～」の達成に向け、次世代モビリティ社会においても安全・安心に貢献する製品のいち早い市場投入を目指しています。その一環として、ADAS(先進運転支援システム)や自動運転における周辺監視で必要不可欠なセンサーであるLiDARを開発、量産体制を確立しています。

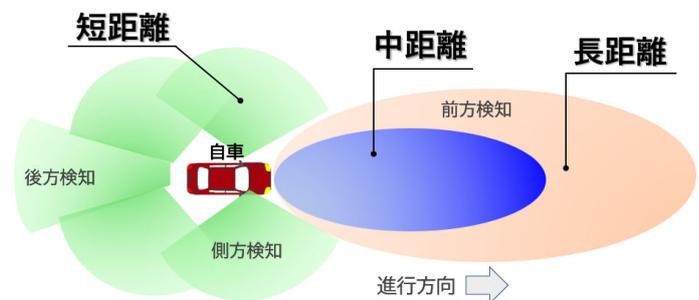
このたび、自動運転レベル4車両(高速道路や限定された地域など、特定の条件下における完全自動運転)における周辺監視用途として、当社がCepton, Inc. (以下、「セプトン社」と言います。)と協業で開発した短距離LiDARが選定され、受注に至りました。

この短距離LiDARは、セプトン社のMMT[®]方式(Micro Motion Technology)を活用しており、機械的な摩耗部がなく長寿命、且つ耐久性があることから、自動車部品に求められる高い信頼性・量産性に優れています。また、当社がこれまで自動車照明器のTier 1メーカーとして培ってきた生産ノウハウ等を活用することで、高いレベルのQCD(Quality、Cost、Delivery)を実現、グローバルOEMメーカーにLiDARのサプライヤーとして選定されました。

当社は、今回受注した短距離に加え、中距離・長距離のLiDARラインナップを揃え、自動車だけでなく、産機・建機・農機車両など、あらゆるモビリティの周辺監視ニーズに対応し、安全・安心で快適な交通社会の実現に貢献してまいります。



小糸製作所がセプトン社と共同開発した
車載向け短距離LiDAR



短・中・長距離のLiDARラインナップで
あらゆるモビリティの周囲360度を監視